

**2010年7月 石原社長  
定例記者会見概要**

7月7日午後3時より、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

**<編成関連>**

上期視聴率は14週が終わった時点で全日帯4位、ゴールデン帯5位、プライム帯5位という状況。金曜日から日曜日は比較的好調だが、月曜から木曜にかけて苦戦している番組が多く、1週間を通してみるとG・P帯は5位という厳しい状況が続いている。今後視聴率が期待できない番組については、10月を待たずに企画変更を現場にお願いしている。

いよいよ決勝が迫っているワールドカップだが、岡田ジャパンが素晴らしいチームワークと精神力で、見事決勝トーナメントに進出した。多くのサポーターや視聴者の方々に勇気と感動を与えてくれたことに、改めて感謝と敬意を表したいと思う。ベストエイトをかけたパラグアイ戦は、57.3%というTBS歴史上最高の視聴率を記録することができた。このフォローの風を生かして、今後の視聴率向上に努めていきたい。

参院選の投開票日、TBSテレビでは「～政権交代とは、なんだったのか～」を番組テーマとして、6時間30分に及ぶ選挙特番を予定している。内容は早くて正確な開票速報、有権者目線での問題提起を盛り込んだしっかりしたものにするよう現場にお願いしている。

**<営業関連>**

第1四半期のネットタイムは、ワールドカップもあったが、レギュラーのマイナスをカバーするには至らず、残念ながら前年実績を下回る見込み。スポットは、東京地区投下量は前年比107%の見込で伸びてきており、当社も徐々にシェアを回復してきているので前年実績を上回る見込みだ。

7月から10月のタイムでは10月の世界バレーをはじめ、まずは固定収入であるネットタイムセールスの増収を図るべく作業に入っている。スポットの7月以降の東京地区投下量は、第1四半期ほどの伸びないだろうという感じはするが、前年実績は上回ると見込んでいる。何とか前年実績を超える売上を確保していきたいと考えている。

夏サカスイベントとの連携など増収策を積極的に図っていくが、いずれにしてもスポット増収には視聴率向上が必須なので、今レギュラー番組の強化に努めているところ。

### <地上デジタル完全移行まで1年>

アナログ放送完全終了への取組みとして、今月4日(日)「全国一斉地デジ化テスト」を放送した。民放テレビ127社とNHKが、アナログ放送とデジタル放送で異なる内容を同時に放送した。番組を見ていれば自分の見ているテレビが、地デジ対応済みかどうか分かる仕組み。テレビとしては初めての試みである程度成果を残したのではないかと思う。

TBSでは継続的な取組みとして本日7日(水)より、「ツボ娘(つぼっこ)」(毎週水曜深夜)内で「地デジ化テスト」を放送することにした。また5日(月)からは、他の地上テレビ各社とともに、原則24時間常時、アナログ放送のレターボックス表示に移行し、番組の冒頭では黒帯部分に、地デジ対応を呼びかけるメッセージを表示している。完全移行まであと1年に迫ったので、各番組で積極的に完全移行に向けた周知徹底を行っていきたいと思う。

### <ラジオ関連> TBSR&C 加藤社長

7月11日夜、参議院選挙開票特別番組「ザ・選挙2010 どうなるニッポン参院選開票スペシャル」を放送する。前半19時55分からの第一部は荒川強啓さん、杉浦舞さんなど「荒川強啓デイ・キャッチ!」を中心に放送、第2部の23時からは外山アナウンサーほか「Dig」の出演者を中心として、放送を予定している。

第17期TBSラジオ環境キャンペーンを7月17日(土)～23日(金)に行う。7月17日(土)15時から特別番組として「環境ニュースNOW～ニュースで考える環境問題」を放送。そのほか期間中、12の情報ワイド番組で環境問題をとりあげる。

営業概況は第一四半期はタイム、スポットともに予算をクリアした。スポットは前年実績を上回ったが下期についてはまだ不透明な状況。

事業ではラジオに出演中のパーソナリティ、コメンテーターによる講演会事業「TBSラジオLOGOS」を立ち上げる。

以上